

11月1日(金) 15:15-17:30

セッションチェアマン： 松下 晋司(㈱産業タイムズ社)・戸所 義博(イーセップ㈱)

◆ 中国・インド・半導体産業の動き(仮題)



株式会社産業タイムズ社
取締役副社長
電子デバイス産業新聞 特別編集委員
津村 明宏

[講演要旨]

[講演者プロフィール]

1995年3月に関西大学経済学部卒。1999年3月(株)産業タイムズ社に入社。電子デバイス業界の専門紙である電子デバイス産業新聞(旧・半導体産業新聞)の記者として、2007年より副編集長、2009年12月より編集長。2021年7月より副社長兼特別編集委員。

◆ 国家総力戦で臨む韓国半導体育成戦略に迫る



株式会社産業タイムズ社
ソウル支局長
嚴 在漢

[講演要旨]

ソウルから車で1時間半距離の龍仁(ヨンイン)に70兆円強を投じる半導体メガクラスターが建設される。韓国政府はクラスター建設のためのインフラ(敷地、電気、用水など)を積極的に支援し、サムスンとSKは向こう10年間に天文学的な設備投資を進めている。こうした韓国産学官は国を挙げて世界半導体覇権戦争に対応している。また、2023年から火蓋を切ったAI半導体市場は韓国半導体にとってビックチャンスとされている。半導体をめぐる韓国国家戦略や企業の取り組みを分析する。

[講演者プロフィール]

1988年韓国外国語大学中国語科卒、93年東京国際大学大学院国際関係学科修士号取得、アジア経済研究所を経て95年産業タイムズ社入局、97～2006年韓国・中国特派員、06年～ソウル特派員、12年～ソウル支局長、現職。著書「韓国先端産業最前線」(2021年発行)など。

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【E-1】 大学セッション(無料)マテリアル先端リサーチインフラ

【E-2】 核融合